

第6次幸手市総合振興計画策定のための
職員意識調査

結果報告書
(概要版)

平成30年3月

幸 手 市

目次

第1章 調査の目的等	1
1 調査の目的	2
2 調査の方法と回収方法	2
3 報告書を見る際の注意事項	2
 第2章 調査結果	 3
1 回答者の属性	4
2 第5次幸手市総合振興計画について	6
3 行財政改革について	8
4 市の施策について	11

第 1 章 調査の目的等

1 調査の目的

- 本調査は、第6次幸手市総合振興計画の策定にあたり、市職員が総力を挙げて取り組む、職員参画による計画策定をめざし、行政運営に対する職員の考え方やこれからの方向性等を把握するとともに、市民との意識との相違を把握するために実施したものです。

2 調査の方法と回収方法

【調査の方法等】

調査対象	幸手市の全職員 382 人
回収数	319 人
回収率	83.5%
調査方法	庁内配布・回収
調査期間	平成 29 年 12 月 27 日～平成 30 年 1 月 16 日

3 報告書を見る際の注意事項

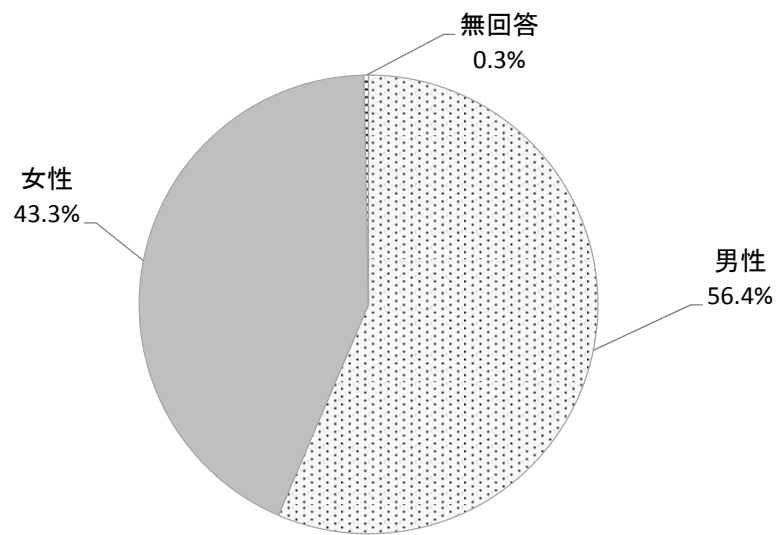
- 図表中の「N」（＝Number）は、設問への回答者数を示しています。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が 100%を超えることがあります。また、複数回答のクロス集計の場合には、縦と横の合計は「回答者数」を示し、パーセントの母数を示しています。そのため、数字を足しあげた数とは一致しません。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- 本文で太字の部分は、全体分析にあたり特に重要な部分のコメントをしています。

第 2 章 調査結果

1 回答者の属性

問1 あなたの性別は、どちらですか。(1つに○)

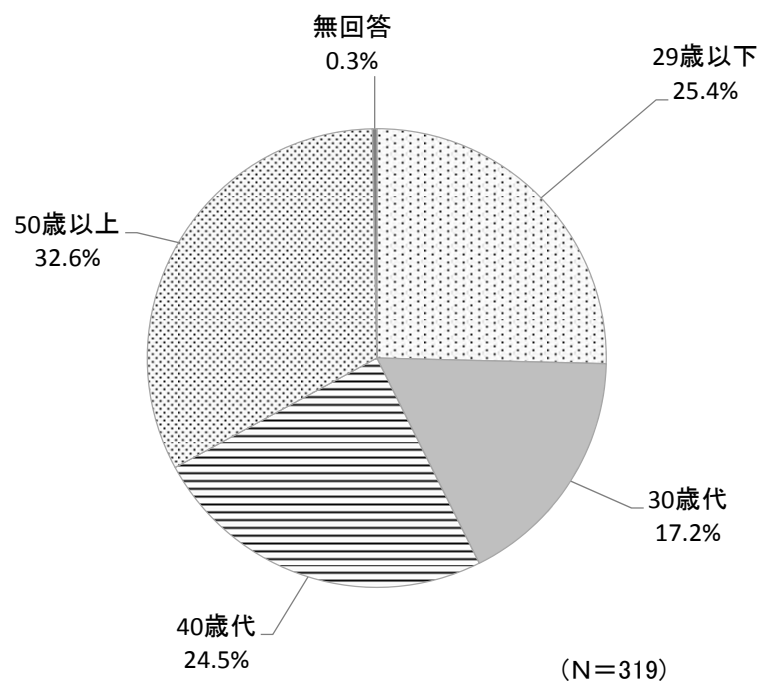
「男性」が56.4%、「女性」が43.3%となっています。



(N=319)

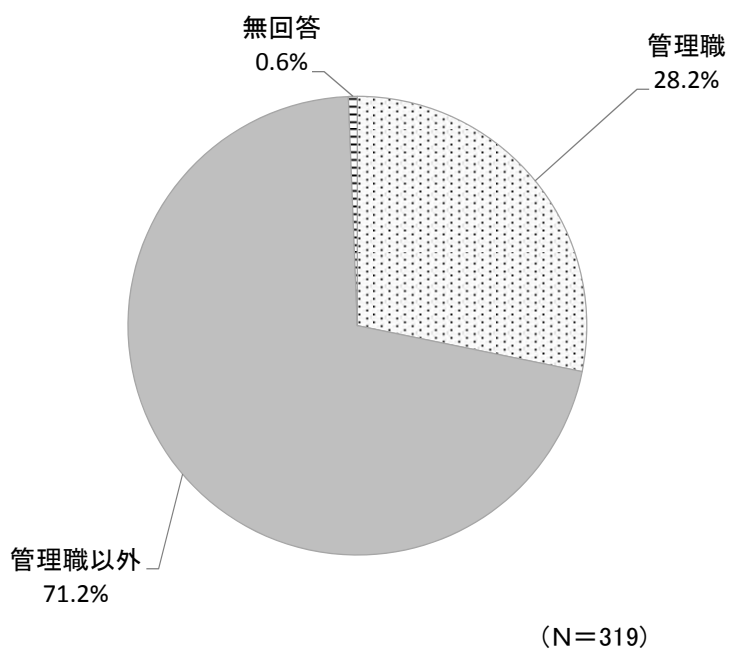
問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。(平成29年12月1日現在の年齢をお答えください。)(1つに○)

「50歳以上」が32.6%、「29歳以下」が25.4%の順となっています。



問3 あなたは管理職ですか。(1つに○)

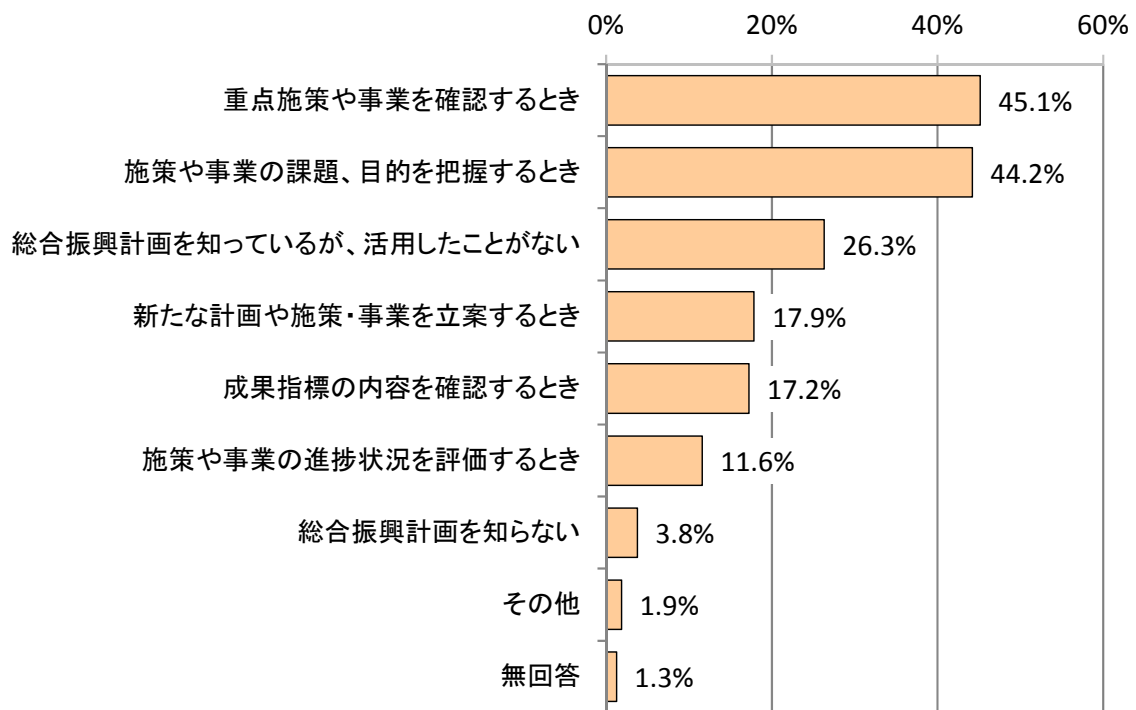
「管理職以外」が71.2%、「管理職」が28.2%の順となっています。



2 第5次幸手市総合振興計画について

問4 あなたは、第5次幸手市総合振興計画後期基本計画をどのようなときに活用していますか。（2つに○）

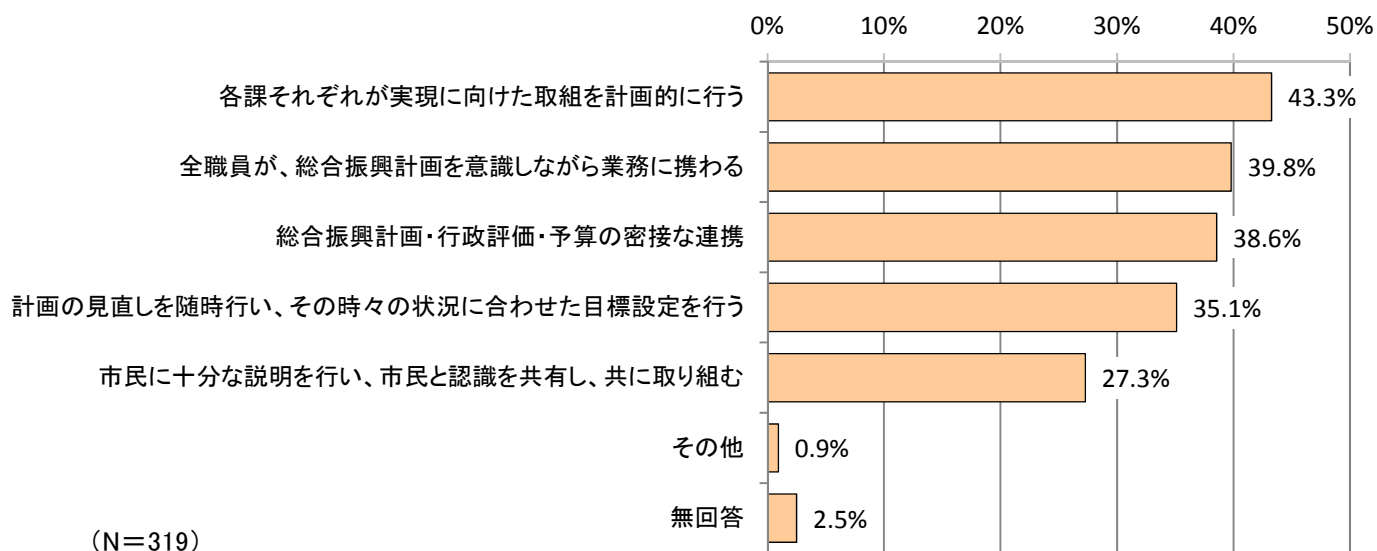
「重点施策や事業を確認するとき」が45.1%と最も多く、次いで「施策や事業の課題、目的を把握するとき」が44.2%の順となっています。



(N=319)

問5 総合振興計画の施策の課題について、課題解決に向けた取組として特にどのような点が重要だと思いますか。(2つに○)

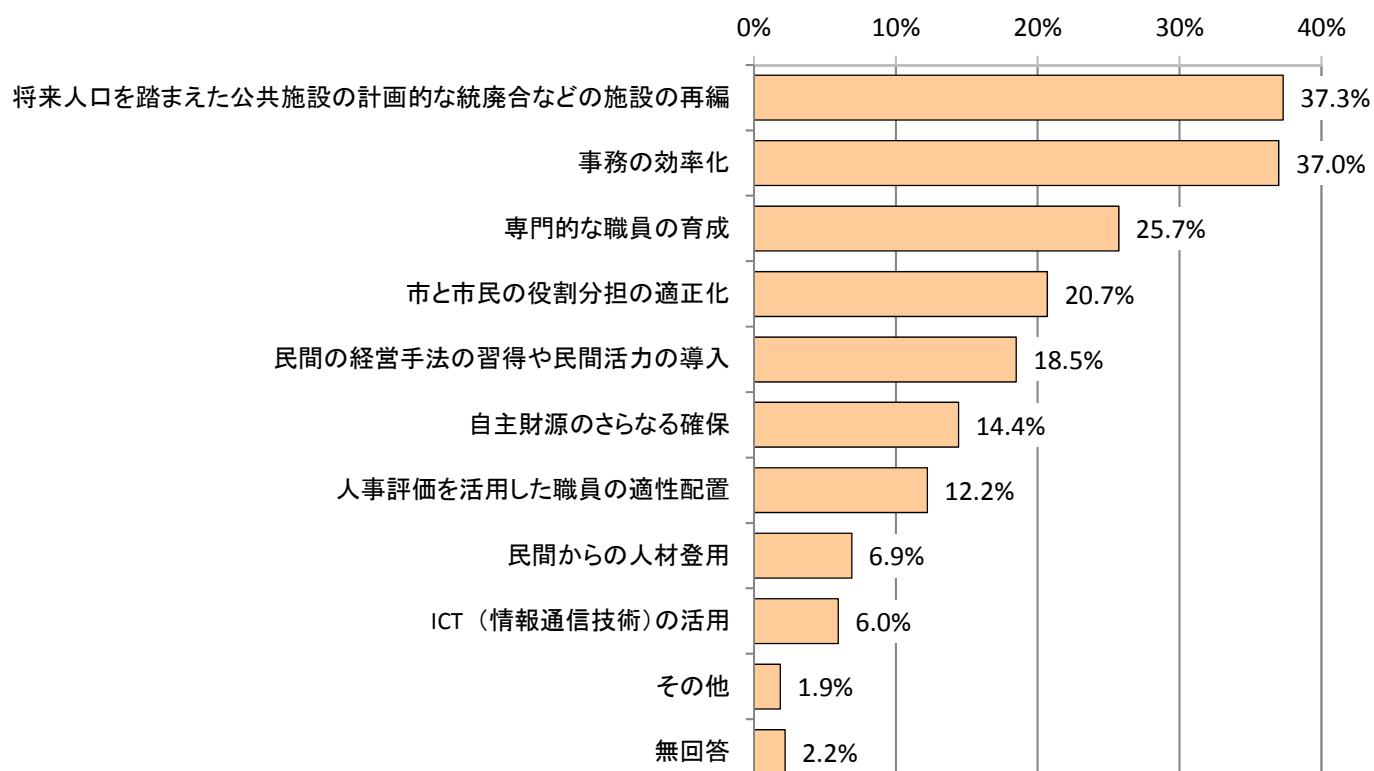
「各課それぞれが実現に向けた取組を計画的に行う」が43.3%と最も多く、次いで「全職員が、総合振興計画を意識しながら業務に携わる」の39.8%となっています。



3 行財政改革について

問6 行財政改革を進めるために重点的に取り組むべきことは何だと思えますか。(2つまで○)

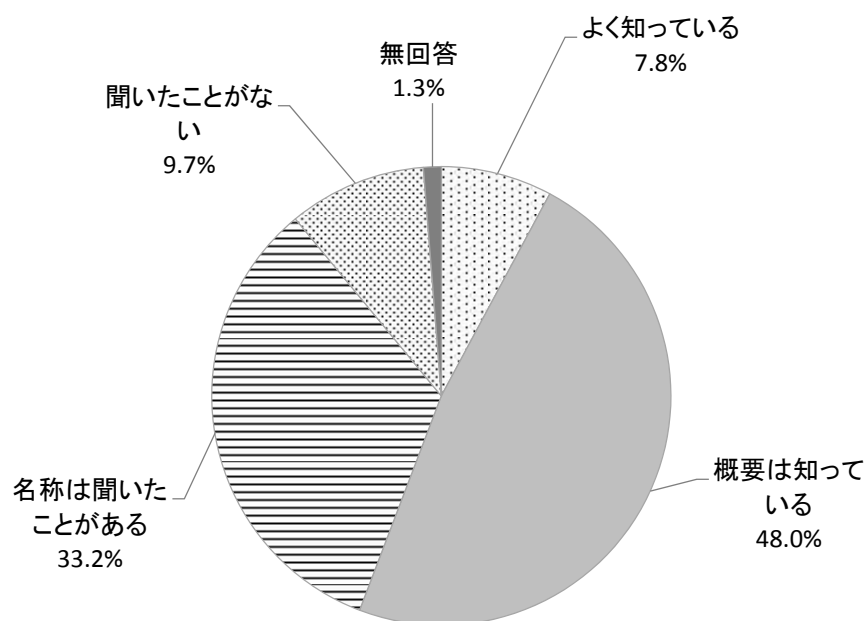
「将来人口を踏まえた公共施設の計画的な統廃合などの施設の再編」が 37.3%と最も多く、次いで「事務の効率化」が 37.0%の順となっています。



(N=319)

問7 あなたは、平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画について、どの程度ご存じですか。(1つに○)

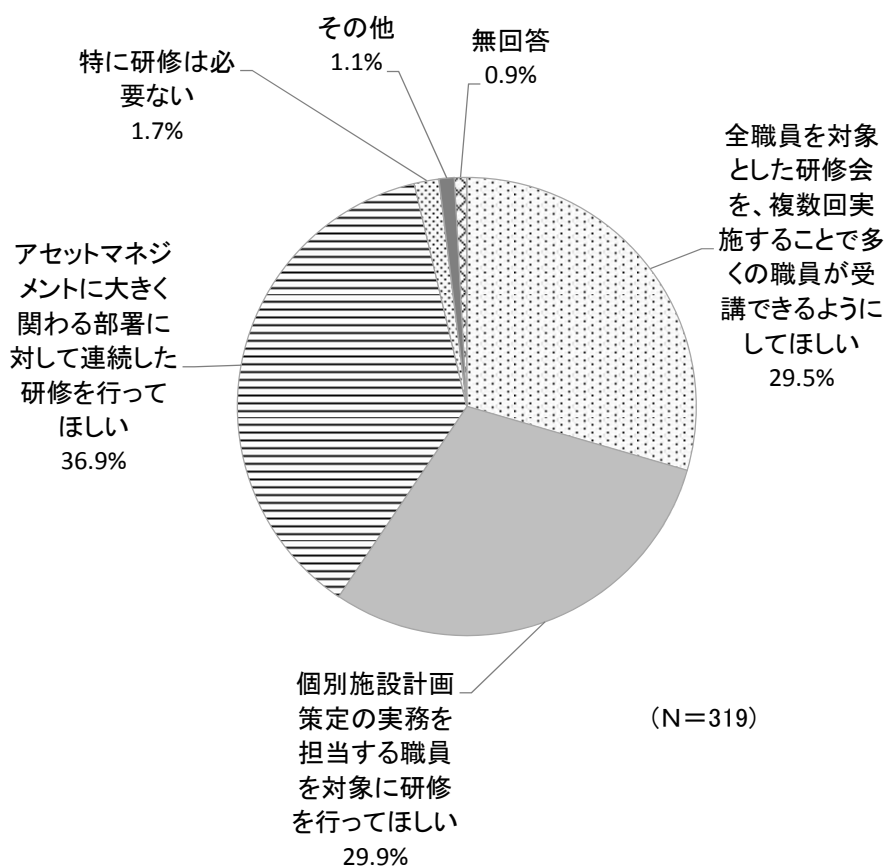
「概要は知っている」が48.0%と最も多く、次いで「名称は聞いたことがある」が33.2%となっています。



(N=319)

問8 本市では、問7の計画を受けて平成30年度から2年間で公共施設の個別計画を策定する予定です。それに伴いアセットマネジメントに関する職員向けの研修会を行う場合、どのような形態が良いと思いますか。(2つまで○)

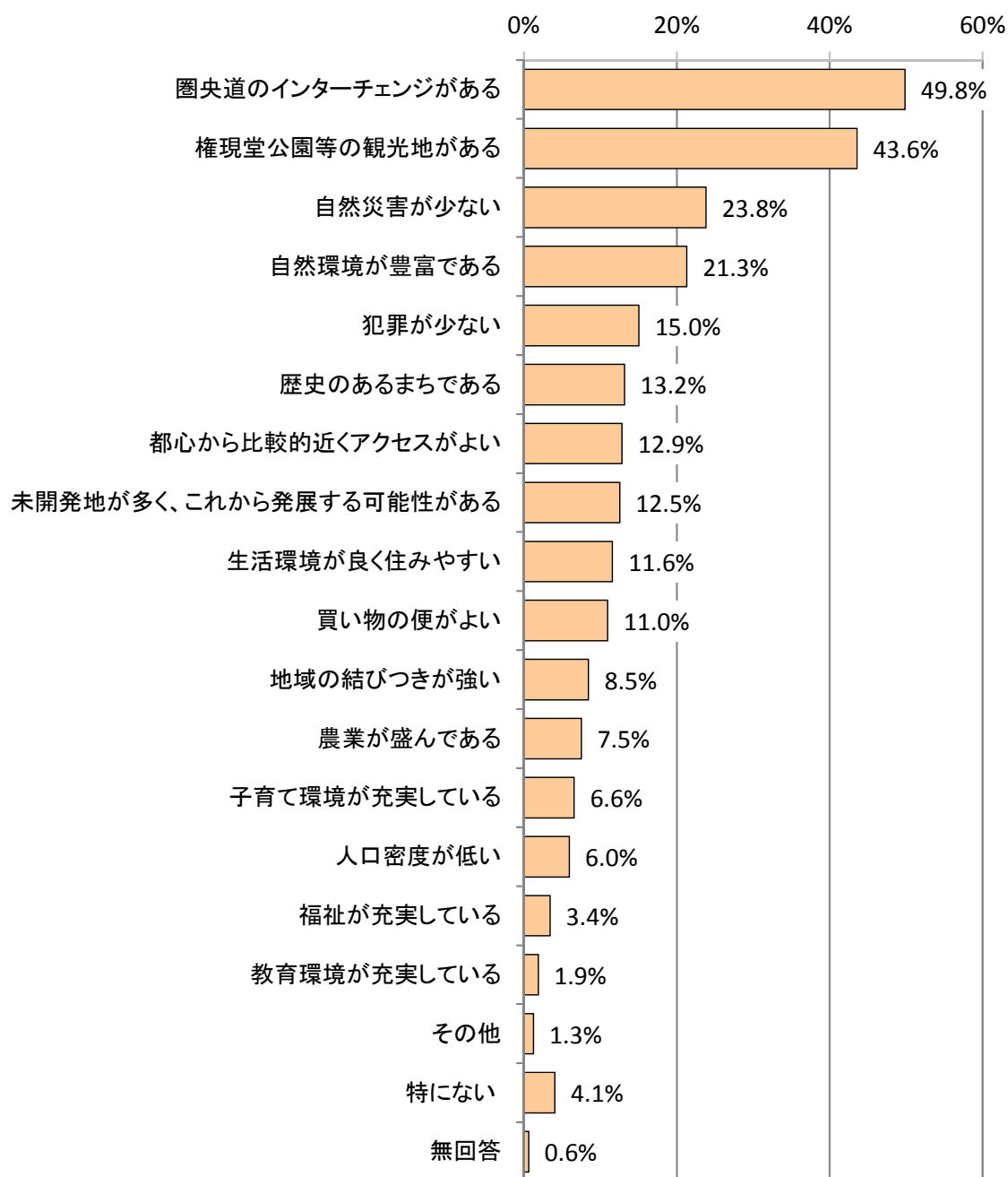
「アセットマネジメントに大きく関わる部署に対して連続した研修を行ってほしい」が36.9%と最も多く、次いで「個別施設計画策定の実務を担当する職員を対象に研修を行ってほしい」が29.9%となっています。



4 市の施策について

問9 幸手市が他の自治体と比較して優れていると思う点は何ですか。（3つまで○）

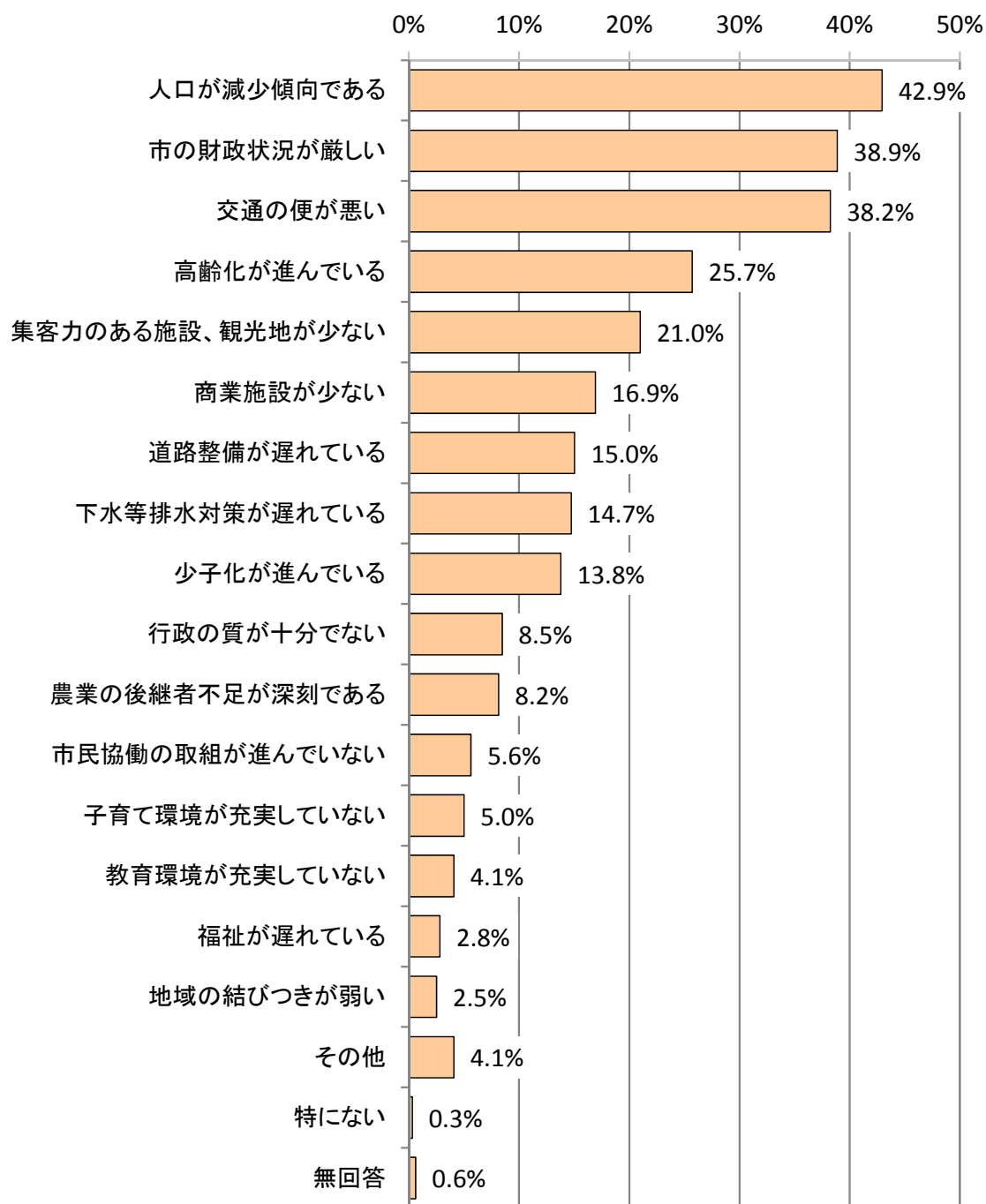
「圏央道のインターチェンジがある」が49.8%と最も多く、次いで「権現堂公園等の観光地がある」が43.6%となっています。



(N=319)

問 10 幸手市が他の自治体と比較して劣っていると思う点は何ですか。（3つまで○）

「人口が減少傾向である」が42.9%と最も多く、次いで「市の財政状況が厳しい」が38.9%となっています。



(N=319)

問 11 市の各施策について、市民はどのくらい満足していると思いますか。

満足度の分析にあたって

満足度の分析にあたっては、回答の項目を以下のルールで点数化し、その上で無回答を除く回答者数を母数として平均点を点数として設定しました。

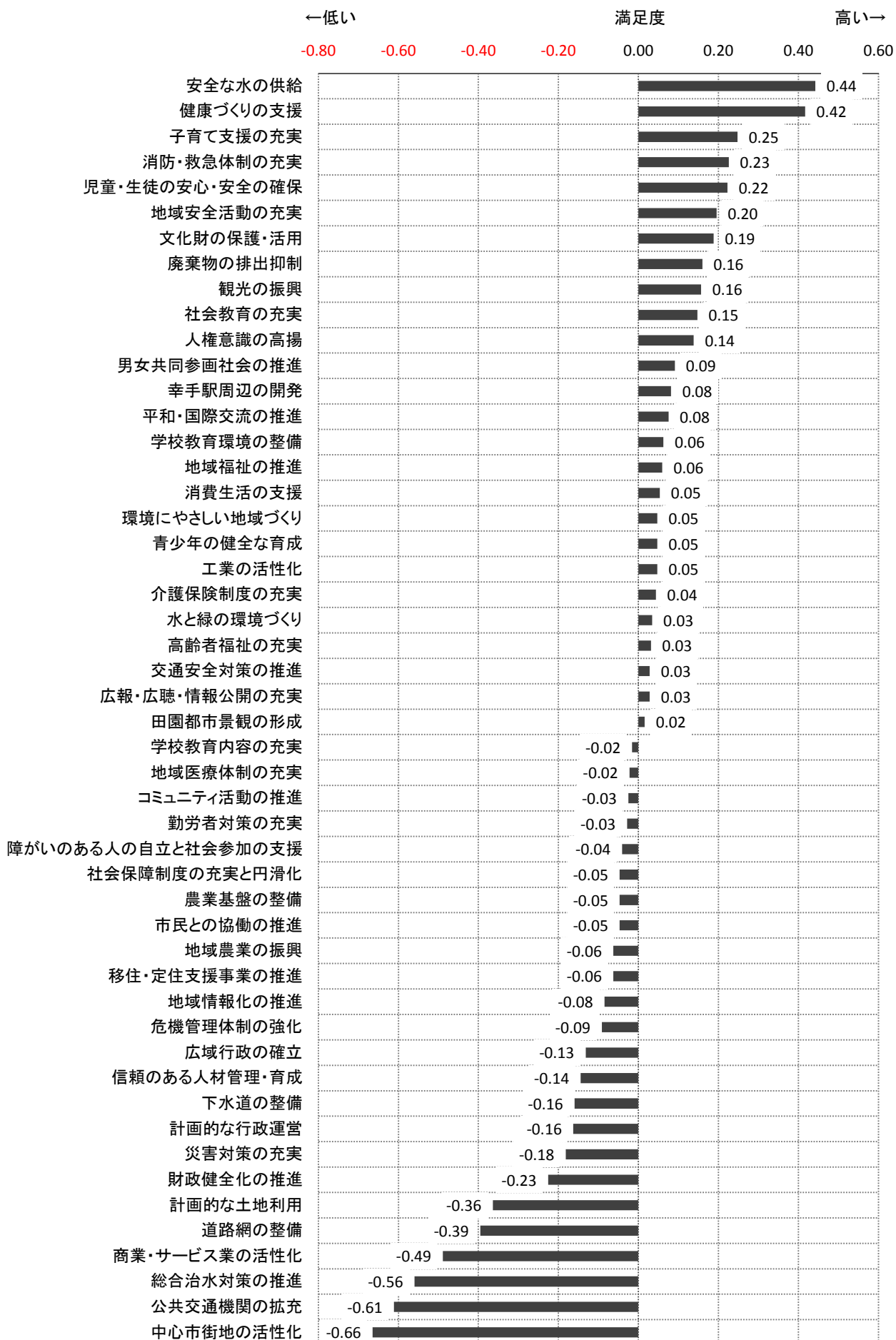
〔満足度〕

満足・・・・・・・・・・2点
どちらかといえば満足・・・・・・・・1点
ふつう・・・・・・・・・・0点
どちらかといえば不満・・・・・・・・-1点
不満・・・・・・・・・・-2点

全体について

満足度について点数化して評価すると、「安全な水の供給」が最も満足度が高く、次いで「健康づくりの支援」「子育て支援の充実」となっています。

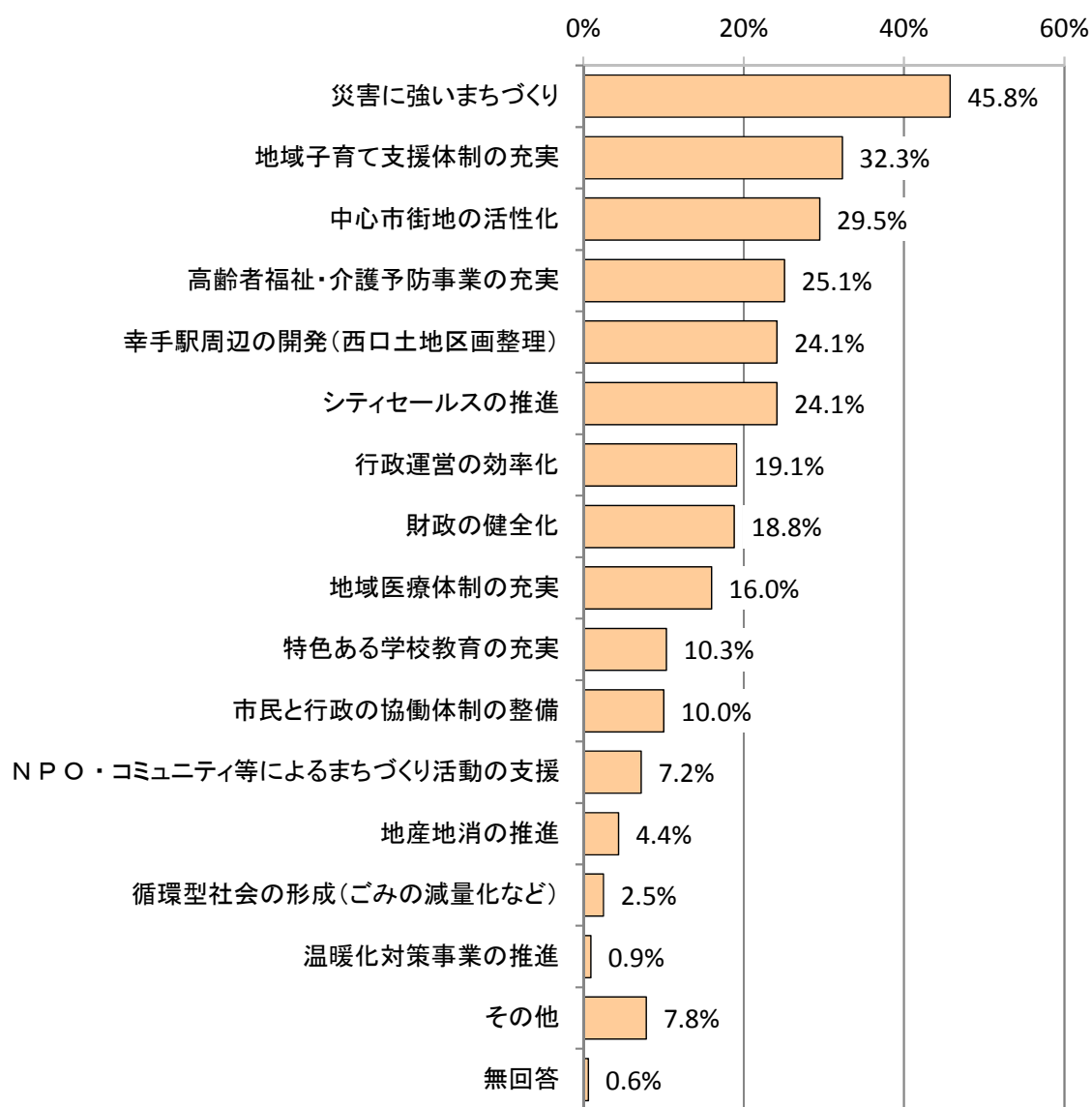
一方、満足度が低い施策は、「中心市街地の活性化」「公共交通機関の拡充」「総合治水対策の推進」となっています。



(N=319)

問 12 今後、10 年間で、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。（3 つまで○）

「災害に強いまちづくり」が 45.8%と最も多く、次いで「地域子育て支援体制の充実」が 32.3%の順となっています。



(N=319)

問 13 幸手市をもっと住み続けたいと思えるまちにしていくなめには、特にどのような点に重点を置いたまちづくりを進めるべきだと思いますか。（2つまで○）

「子育て・教育支援が充実した子どもを産み育てたいまち」が 45.5%と最も多く、次いで「ゆとりある空間と充実したライフラインで快適な住環境を持ったまち」が 28.5%の順となっています。

